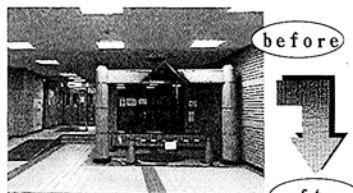


全86戸の社員寮を改修

築古でも上質さ演出 ノットコーポレーション



ノットコーポレーション(大阪市)は、社員寮として利用していたマンションを大規模改装。デザイン性の高い賃貸物件として9月末に竣工した。



▶ダウライトやインッシュードで上品なエンタランス

場所は阪急宝塚線「豊中」駅から徒歩で約15分。RC造地下1階地上8階建て全86戸の『ワイング旭ヶ丘』だ。前所有者の航空会社が売却し、ワキ有部のデザインを一新した(大阪市)が購入。ノ

住宅街が並ぶ周辺環境や、3LDKの間取りから、ターゲットをファミリー層に置く。入り口部分に自立式サインを構え、外観を新築物件や分譲マンションのよう

に上質に仕上げた。エントランスの照明はダウライトとコープ照明を採用している。室内の建具は既存を残しながら化粧シートを貼ることで新旧の差を払拭(ふっしょく)し、さらにコストダウンを図った。

ネーチャーは「費用対効果」を考慮し、すべてをフルリノベーションするのではなく、既存と新規のバランスが崩れないような設計を心掛けた。賃貸物件と比べても高めの約12万円に設定。工事完了前に入居申し込みが入っている。



リノベーションは、物件に新たな価値を吹き込む。関西で実施したユニークな事例を紹介する。